

準備進捗状況

吉田 慎一・江端 梨紗・三島 友美

I. 学会概要 (担当：吉田 慎一)

- ①テーマ：見つめよう作業療法！伝えよう作業療法！
- ②会 期：2012年5月13日(日) 10:00～16:00 ※スケジュール…添付資料①
- ③会 場：江南市民文化会館(〒483-8177 愛知県江南市北野町川石 25-1) 添付資料②
- ④目 的：作業療法士に対して…障害と向き合う方の体験談を通して、自身の臨床を振り返る機会として頂きたい。また若年者には敷居が高い臨床研究について、先輩方からの経験談を通して身近なものに感じて頂きたい。
- 『臨床研究とは自身の臨床を見つめ直し、それを他者に伝え、フィードバックを得る手続き。また作業療法士以外の方(一般市民、他の医療従事者など)に作業療法の意義を伝える手段。』
- 一般市民に対して…障害と向き合う方の体験談を通して、障害やそれを克服しようとすることを身近に感じて頂きたい。また作業療法の紹介ポスターなどを通じて、作業療法を知って頂く機会としたい。
- ⑤後 援：愛知県・尾北医師会・愛知県看護協会・愛知県理学療法士会・愛知県言語聴覚士会に依頼予定(2011年10月頃)。江南市には内諾済み。
- ⑥協 賛：協力施設へ依頼予定(打診済み、正式には2011年10月頃依頼予定)。
各業者へ協賛依頼しない予定(広告協賛を含む)。
- ⑦参加費：会員：2000円、非会員：3000円、学生：500円。
市民：無料(ただし一般市民の入場は13:00より)。

※県士会総会

12:40～13:40 第1会議室(ランチョン形式、昼食は各自準備)

II. 協力施設 (担当：吉田 慎一)

①施 設：18施設

一宮市立木曾川市民病院、一宮市立市民病院、一宮西病院、犬山中央病院、
岩倉病院、鶉飼リハビリテーション病院、上林記念病院、江南厚生病院、
五条川リハビリテーション病院、済衆館病院、佐藤病院、総合大雄会病院、千秋病院、
津島市民病院、東海記念病院、尾西記念病院、尾西病院、老人保健施設やすらぎ

(五十音順)

②組織図：添付資料③

③人 数：84～88名

④打合せ：メーリングリスト稼働中。2011年9月30日に顔合わせ会開催予定。

Ⅲ. 広報 (担当：中野 有貴)

<作業療法士に対して>

- ①しゅちほこタイムス：原稿作成済み。近日中に広報部に依頼。
- ②ホームページ：決定事項については作成済み。アップロードは未実施。
- ③日本作業療法士協会：広報依頼予定（2012年1月または2月頃）。

<一般市民に対して>

- ①学会ポスター：各市町村の役所と保健センターに配布予定。
- ②各市町村の広報：尾張地区内の市町村に依頼予定（2012年2月または3月頃）。

Ⅳ. 会場関連 (担当：江端 梨紗)

- ①担当者：各業務リーダー決定。
- ②委 属：委属状の作成・発送準備中。
- ③進 行：会場進行マニュアル作成中。
- ④昼 食：昼食がとれる場所をリサーチ中。
- ⑤打合せ：会場職員と進行部長は打ち合わせ済み。
8月31日に2度目の打ち合わせ予定（他スタッフも参加予定）。

Ⅴ. 業者展示 (担当：北村 彰浩)

- ①業 者：一般市民への広報という視点から福祉用具・住宅改修に関する展示のみ実施（1業者のみを予定、該当業者には依頼済み）。また市民公開講座の講師が所属する福祉工房あいちにも自
助具（発明品）の展示を依頼。流石に書店には依頼予定（2社より検討中）。
- ②広 告：協力施設の作業療法紹介をポスターにて実施予定。

Ⅵ. 学会誌 (担当：廣瀬 由香・中野 有貴)

- ①構 成：検討中。
- ②見 積：済み。部数などを検討の上、発注予定（1600～1700部程度）。

Ⅶ. 演題登録 (担当：廣瀬 由香)

- ①要 項：作成済み。添付資料④
- ②査読者：リストアップ中。
- ③委 属：査読者決定後、作成・発送予定。
- ④演 題：一般演題は15～20演題を予定。可能であれば、Acceptは90%程度に設定希望。
- ⑤優秀賞：会員による投票にて最優秀演題を選出予定。

Ⅷ. 市民公開講座（担当：三島 友美）

- ①講師：加藤 源重（福祉工房あいち）添付資料⑤
- ②テーマ：障がい乗り越え発明人生～傷の手は宝物～
- ③打合せ：福祉工房あいちにて打ち合わせ済み.
- ④進行：進行マニュアル作成中.
- ⑤司 会：内定済み.
- ⑥委 属：必要・不要確認中.

Ⅸ. 教育セミナー（担当：三島 友美）

- ①発 表：会員の中よりリストアップ済み. 9月中に確定予定.
- ②テーマ：各領域の臨床研究（身体・老年期・精神・発達）～私はこうしている～
- ③打合せ：発表者確定後に打合せ予定.
- ④進 行：進行マニュアル作成中.
- ⑤司 会：会員の中よりリストアップ済み. 9月中に確定予定.
- ⑥委 属：委属状を作成・発送予定.

X. 開閉会式（担当：江端 梨紗）

- ①参加者：リストアップ中.
- ②進 行：進行マニュアル作成中.

X I. 会計（担当：北村 彰浩）

- ①受 付：会場担当者と検討中.
- ②謝礼金：講師謝礼金一覧を作成中.
市民公開講座講師は NPO 所属のため謝礼を拒否. そのため寄付金として対応予定.
- ③領収書：管理方法等を検討中.
- ④参加費：JA バンクの一般口座を開設. 当口座にて管理予定.
- ⑤参加証：印刷は見積済み. 部数などを検討の上, 発注予定.
- ⑥返 金：可能であれば, 運営スタッフへ参加費を返金希望（¥168000～176000）.

添付資料②

<日時> 24. 5. 13(日) 9:00～17:00

事前準備 24. 5. 12(土) 17:00～21:30

<場所> 江南文化会館

〒483-8177 愛知県江南市北野町川石25-1

TEL (0587)55-2321

<地図>

交通アクセス

名古屋駅から名鉄犬山線 江南駅下車 東口より徒歩10分
(名古屋から電車(特急・急行) 約20分～25分)

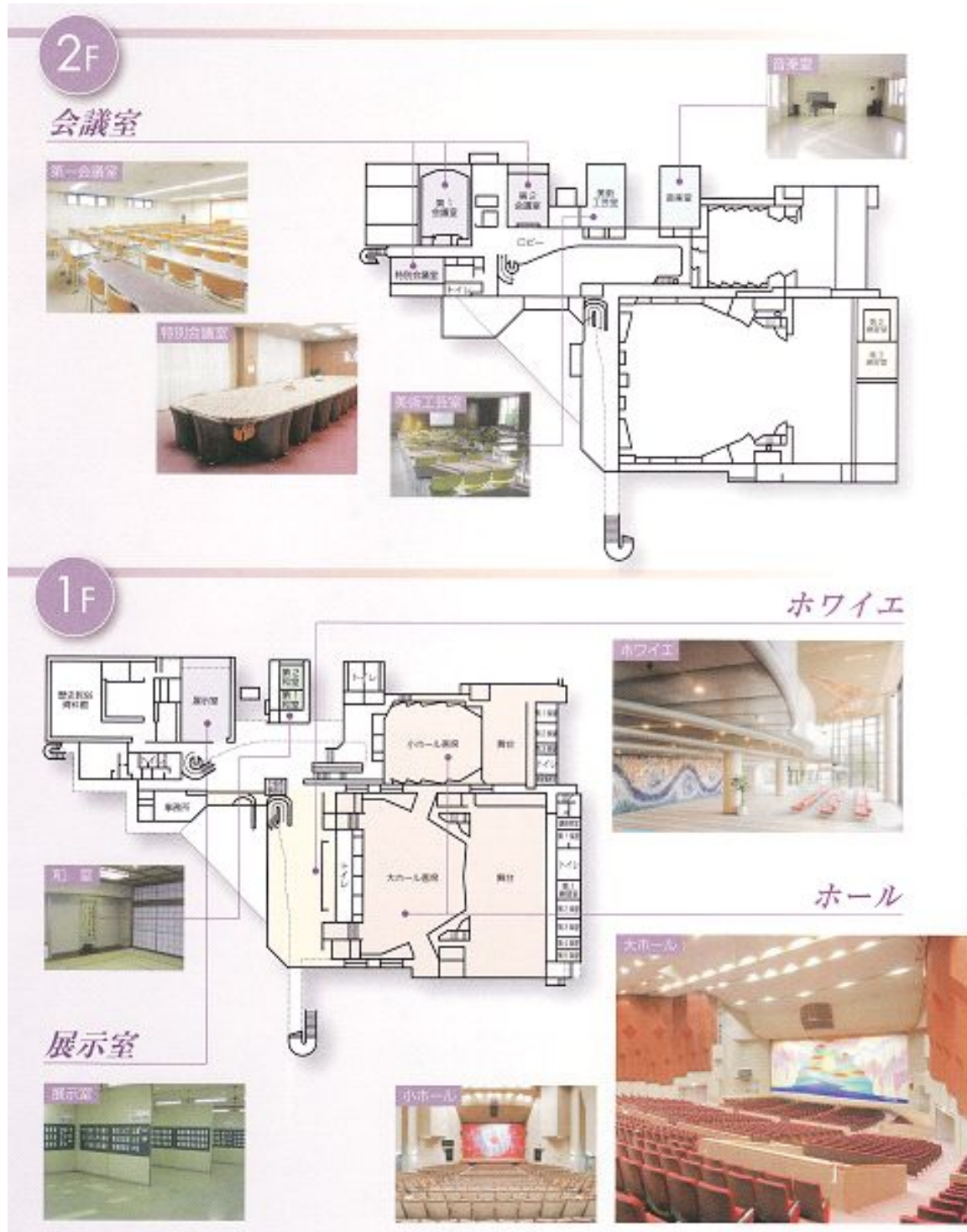
駐車場:完備(無料) 200台程度

☆飲食について

大・小ホール以外は可能

ゴミ箱ないためゴミは各自持ちかえって頂く

<会場図>



<使用会場>

- ・ホワイエ : 受付
- ・大ホール(1276席) : 教育セミナー・演題発表・市民講座
- ・小ホール(422席) : 教育セミナー・演題発表
- ・第1会議室(120名) : 教育セミナー・演題発表
- ・第2会議室(63名) : 教育セミナー・演題発表
- ・展示室 : 市民講座講師による展示 ・業者(ニック)による展示 ・書店・ポスター
- ・大ホール楽屋(2~5)・講師控室・第1~2練習室 : スタッフ控室
- ・特別会議室 : 県士会控室

第20回 愛知県作業療法学会 運営組織

役名	氏名	所属
学 会 長	吉田 慎一	江南厚生病院
副 学 会 長	竹本 あゆみ	五条川リハビリテーション病院
実 行 委 員 長	三島 ともみ	江南厚生病院
企 画 委 員	野田 浩志	上林記念病院
	奥村 昌弘	尾西病院
	今井 和孝	犬山中央病院
学 術 部 長	廣瀬 由香	江南厚生病院
演 題 採 否	桑野 洋之	一宮市立木曾川市民病院
	森本 雅之	鵜飼リハビリテーション病院
	窪 優太	東海記念病院
運 営 部 長	江端 梨紗	江南厚生病院
広 告 展 示 係	尾崎 猛	済衆館病院
受 付 係	市橋 有希子	千秋病院
接 待 係	寺澤 常保	津島市民病院
事 務 局	中野 有貴	江南厚生病院
財 務 係	北村 彰浩	江南厚生病院

第 20 回愛知県作業療法学会 一般演題募集のご案内

平成 23 年 8 月 31 日

学会長 吉田 慎一（江南厚生病院）

第 20 回愛知県作業療法学会の一般演題を募集いたします。一般演題は、学会テーマにこだわらず幅広く募集します。日々の成果を発表していただく機会として、多数のご応募をお待ちしています。

会 期 : 平成 24 年 5 月 13 日（日）

会 場 : 江南市民文化会館

テーマ : 見つめよう作業療法！伝えよう作業療法！

募集演題 : 一般演題 口述発表

事務局 : 〒483-8704 江南市高屋町大松原 137

愛知県厚生連 江南厚生病院 電話 : (0587)51-3333（代表）

第 20 回愛知県作業療法学会 演題係 広瀬 由香

【一般演題募集要項】

演題名（タイトル）を先に募集し、原稿は改めて提出していただきます。下記の要項に従ってご応募ください。

なお応募資格は、本会会員で会費滞納が無いことが条件になります。会費未納の場合は早急に、愛知県作業療法士会に会費を納入してください。

1. 演題名募集

1) 演題名（タイトル）募集〆切 : 平成 23 年 12 月 22 日（木）

2) 応募内容および方法

(1) 演題名、演者名、施設名

(2) 演者連絡先 (1)(2)を下記のアドレスへメールで申し込んでください。

E-mail : endai_aichi20@yahoo.co.jp

メール環境が整っていない方は事務局まで連絡下さい。

3) 発表形式 : 口述発表（発表 7 分間、質疑応答 3 分間を予定）

抄録詳細、発表の方法は応募者それぞれに連絡します。

(注) 受理の連絡を応募〆切後 1 週間以内に入れます。期限を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが、電話にてご一報ください。

2. 原稿提出

1) 原稿提出〆切 : 平成 24 年 1 月 28 日（金）

2) 応募演題の審査および採否

平成 24 年 2 月に演題採否委員会が審査を行い、学会長が決定します。

結果は応募者それぞれに連絡します。

※不明な点がありましたら演題係の広瀬までご連絡下さい。

第 20 回愛知県作業療法学会

特別講演（市民講座）

講師：非営利特定法人 福祉工房あいち
理事長 加藤 源重（かとう げんじゅう）



1935 年愛知県岡崎市生まれ。早稲田大学、愛知産業大学など多数の大学、福祉関係団体、企業研修など年間 40 件の講師依頼がある。科学技術長官賞、特許庁長官賞など他 54 の賞を受賞。

経歴：

鍛冶屋の息子として育つ。中学卒業後、旋盤工見習として住み込みで働くことから始めて、旋盤工や溶接工などの仕事を通して技術を習得する。

1991 年 3 月。56 歳の時に機械の修理中の事故で利き手の 5 指をすべて失う。

「もう一度、自分の右手で箸を持ち食事がしたい。」という思いから、自分のための自助具製作に取り掛かる。残された機能を利用できる構造の自助具を考え図面に書き起こすが、4 件の義手メーカーに断られ、自身の手で自助具作りを始めた。

ことがきっかけになり、障がいを持つ人のための自助具・補助具作成を始める。全国各地から自助具を求め訪れる方が絶えない。

2000 年 1 月に、ボランティアで自助具を製作する「福祉工房あいち」を設立し、ボランティアスタッフとともに活動を展開している。

著書：

- ・『障害を乗り越え発明人生「傷の手は宝」』（太陽堂）
- ・『自由への補助具』（本の森）
- ・『障害を乗り越え発明人生』（創栄）
- ・『三河のエジソン』（佼成）

出演番組：

- ・第 41 回ギャラクシー大賞『とうちゃんはエジソン』
- ・NHK 道徳ドキュメント 人生はチャレンジだ！！ 『発明家の右手は宝物』
- ・2010 年 6 月 18 日 ぴーかんテレビ 『親愛なる君へ 失った右手となって支えてくれた妻へ』

講演テーマ：障がい乗り越え発明人生 ～傷の手は宝物～